

「おじいちゃん、見て、見て、こんなに大きなバツタ取ったよ」協力員のおじいさんに駆け寄り、誇らしげに話す子どもたち。市内の各保育所では子どもたちの安全を確保するため、それぞれ1～2名の保育所運営協力員をお願いし、ボランティアとして園舎周辺の見回りや不審な人の発見に努めていただいています。



「こま、上手に回るかな？」

日ごろは子どもたちとの触れ合いが主な内容で、時には理科の先生に、時には体操のお兄さんに変身です。また、菜園を開放し、子どもたちにイチゴ狩りや芋掘りを体験させてくださる方もおられ、頭の下がる思いです。地域の協力員の皆さんのお蔭で子どもたちは安全に過ごすことができただけではなく、生きる力を学んでいるように感じます。



やさしく声をかける協力員さん

いなべ市農業公園 うめぼ～やだより

梅の実もぎどり体験

日時 6月20日(土)～22日(月) 9:00～15:00
申し込みの必要はありませんが、梅の実がなくなり次第終了します。

場所 梅林公園内(直売所)【藤原町鼎717】

体験料 1,000円/袋(約3kg)

こんにちは！うめぼ～やです。
次は梅の実のもぎどり体験だよ。愛らしい梅の果実がたわわに実ります。体に良いといわれている自家製の「梅干しや梅ジュース」を作ってはいかがでしょう！
今年も梅ジュース体験をするからぜひ、遊びに来てね！



農業公園イメージキャラクター うめぼ～や



梅の実もぎどり体験

第3回

うめぼ～やふあんくらぶ

梅ジュースづくり体験

日時 6月20日(土)～21日(日) 10:00～14:00
場所 梅林公園内(直売所)
体験料 お1人 1,000円(1日につき、先着100人限定)

☎いなべ市農業公園 ☎46-8377 ☎46-8385

めざせ！いなべ通！！

～自然と歴史紹介～

いなべ
検定入門
34

治田銀銅の鉱山遺跡 (北勢町新町)

治田鉱山は、北勢町の旧治田村の西部にあり、南河内山、多志田山、野尻山、君ヶ畑山の4つの山を総称して治田鉱山と呼び、銀や銅を産出していました。元禄年間の最盛期には、約700人が鉱山に従事し、数年で約200トンもの銅が産出されたという記録が残っています。北勢最大のこの鉱山が繁栄した時代には、兵庫県の多田銀銅山から移住した人々が菩提寺として新町甘露寺を建立し、産出した銅を基に梵鐘を造ったそうです。(北勢町の三光寺・安行寺の梵鐘も同様)

また、坑道を「間歩」として掘り抜き、坑道から水を排水する高度な技術は、この地域のかんがい用の「マンボ」を多数完成させました。このように、先人たちの残した優れた技術や知識が現在もたくさん残されています。

参考文献：「治田村誌」 情報提供者：いなべ市の語り部 藤田 宣和さん

☎員弁庁舎 広報秘書課 ☎74-5820 ☎74-5821

甘露寺の
梵鐘